



つながるカレッジねりま みどり分野

コミュニティ・ガーデナーコース 講座だより

第3回 「植栽ワーク」

日時：令和4年6月16日（木）

9：30～12：30

会場：四季の香ローズガーデン

今回の講座の流れ

前回決定した花壇のコンセプトやテーマを基に、「リセット」「リフレッシュ」「ひとやすみ」などを意識した、デザインの解説がありました。植栽ワークでは、土づくりや苗の配置、水やりのコツを、ガーデンのお手入れでは、道具の管理を学びました。その後、実際に実習花壇で一年草の植え付けや、水やりの実習をしました。

各プログラムの様子



「季節のテーマとデザイン」の様子



「植栽ワーク（土づくり）」の様子



「植え付け・水やり」の様子



実習後 『街のオアシス Re フレッシュ』

季節のテーマとデザイン

前回のワークショップで決定した『街のオアシス Re フレッシュ』のイメージに近い植物を講師の三浦氏が選定し、その植物の名前や特性、配置する際に気をつけるポイント等について、理解を深めました。

植栽ワーク

植物が健康に育つ環境のために大切なのは土づくりと植え付け後の水やり！「**良い土**」とは「**水はけが良く通気性があり、水もちが良く、肥料もちが良い土**」です。「水やり」は「**植物が根を深く広く伸ばせるように、たっぷり行うことが大切**」です。その他に、配置のコツや剣スコップの使い方などを学びました。

ガーデンのお手入れ

「ガーデンのお手入れ（道具の管理）」では、花壇活動後に道具の管理をきちんとすることで、次の活動時、**スムーズに作業に入れること**を学びました。

実習（植栽ワーク）

実習では、座学で学んだことを生かして、植え付け、マルチング、水やりをしました。受講生から「**植え付け時の水やりの分量が多くて驚いた。**」との声が出ました。

矢口講師の頭上に注目！！→

コミュニティガーデンについて

コミュニティガーデンは「地域の庭」。まちかどの花壇や公園、マンションの中庭など、場所も大きさも形もいろいろです。仲間と一緒に愛着をもって手入れし、作る人や見て楽しむ人の笑顔があれば、コミュニティガーデンです。

今回のキーワード

「マルチングのすすめ」

(NPO Green Works 三浦)

一年草の植え付け後、腐葉土のマルチングをしました。一つ一つの株元にお布団のように3cmくらいの厚さで腐葉土をのせる（敷く）だけです。

有機物でマルチングをすると、乾燥を防ぎ、生物性が高まり、団粒化が促されます。その結果、排水性や保水性が高まるので、植物の生育が良くなり、土壌の生物相が豊かになることで、病虫害も少なくなる効果があります。また、暑さ除け、真夏の照り返し予防、寒さ除け、霜除け、土壌改良、雑草除け、病気の予防など様々な効果があります。

今月の花壇団体紹介

団体名：たかはら公園
花壇管理委員会



活動場所：たかはら公園
(谷原 1-18-1)
活動日時：不定期
(原則毎週土日)

「小学生の方や近所の方に『ありがとう』などあたたかい言葉をかけていただき感動しました。今一人で花壇活動を行っていて、大変なので、お手伝いしてくださる方、募集中です!!!」